

# 国土利用計画 函南町計画（第3次計画）を策定

問合せ／企画財政課（979-8101）



国土利用計画とは、国土利用計画法に基づくもので、函南町の土地が将来にわたりどのように利用されることが望ましいかを定めるものであり、土地利用に関する行政上の指針となるものです。

国土利用計画は、全国計画・都道府県計画・市町村計画の3種類があります。函南町計画は、全国計画および静岡県計画を基本として、第六次函南町総合計画の基本構想と整合を図って策定しています。

## 函南町の現状

函南町は、狩野川の流域に広がる水田地帯と、箱根山系に連なる山地・丘陵地に大別され、古くから農業を主体に発展してきました。人口は平成17年の38,803人をピークに減少傾向に転じています。

また、東駿河湾環状道路の開通により交通の利便性は大きく向上し、内陸フロンティア推進区域の指定を受け、道の駅・川の駅を生かした産業振興・地域活性化が期待されています。一方、人口減少・少子高齢化の進展、地球規模での環境保全、厳しい財政状況など、まちづくりに関する課題は多様化しており、コンパクトプラスネットワークを目指したまちづくりと、地震や集中豪雨などによる自然災害に対する備えがより一層求められています。

## 函南町の国土利用計画の役割

今後、高齢者や子育て世代の人々が安心して暮らし、住み続けたいくなるように、自然環境の保全や開発事業との調和に配慮し、良質な宅地の供給など、適切な土地利用に努め、土地の有効利用を図っていくことが重要となります。

## 函南町の土地利用の基本方針

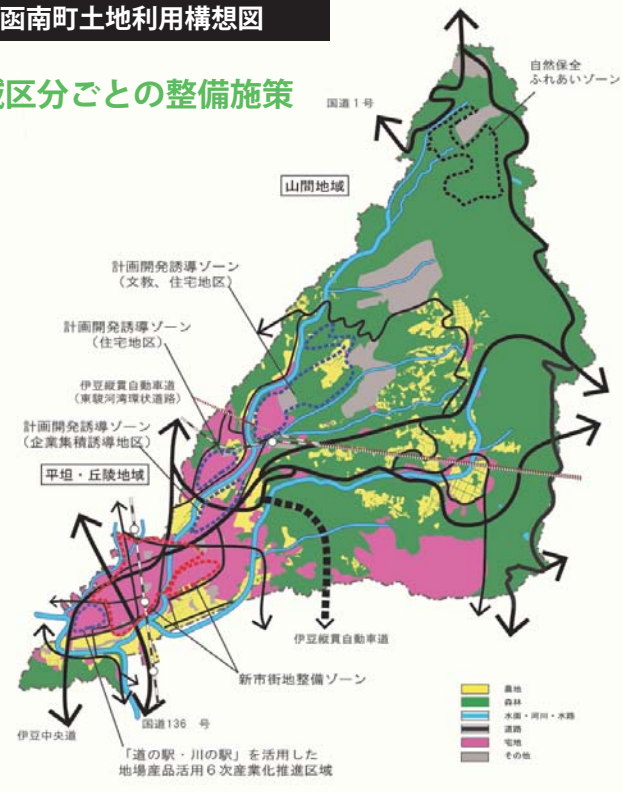
函南町の土地は、現在および将来における町民のための限りある資源であり、町民生活、産業活動のための共通の基盤です。

土地の利用は、地域の自然的、社会的、経済的および文化的諸条件のほか、公共の福祉の優先に努め、東駿河湾環状道路や伊豆縦貫自動車道などの整備に伴う企業進出や住宅需要など長期的な展望のもとに総合的、計画的に進めていく必要があります。

町の土地利用計画は、今後予想される住宅地などの民間開発や公共施設の用地のほか、都市的土地利用の拡大や農業・工業・商業の調和のとれた産業振興、さらに環境保全のための自然環境の保全など十分検討し、地域の特性を踏まえつつ安全で住みよい生活環境の確保と町全体の均衡のとれた発展を図るための方針を定めています。

図 函南町土地利用構想図

### 地域区分ごとの整備施策



# SAKURA Spot

春の風物詩といえば「桜」です。早咲きの桜もあれば、これから咲く桜もあります。今シーズンは函南の桜の名所へ出かけましょう。



桜のアーチをくぐろう  
仁田さくら公園

桜・富士山・伊豆箱根鉄道駿豆線と一緒に眺めることができます。34本のソメイヨシノの桜並木は外から眺めるもよし。桜のアーチをくぐるのもよし。



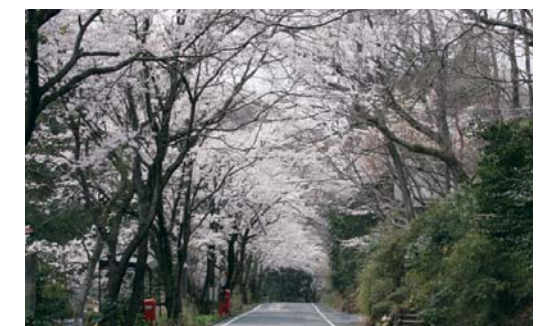
お花見・ピクニックに最適  
柏谷公園

芝生の多目的広場を囲うように桜が植えられています。お花見・ピクニックに最適です。桜と一緒に国指定史跡「柏谷横穴群」を眺めることができます。



堤防を散策しながら  
畑毛せせらぎ公園

約410本の河津桜が柿沢川の堤防沿いに植えられています。新しい函南の名所です。（早咲きの桜のため2月下旬～3月中旬が見ごろです）



桜のトンネルを探そう  
谷下線沿い

畑毛からダイヤモンドへ向かう途中の谷下線沿いの桜並木です。隠れた桜のスポットかもしれません。桜のトンネルをくぐりませんか。



800mの遊歩道を歩きながら  
日守山公園

遊歩道の途中で桜を眺めることができます。一汗かきながらの桜は最高です。



熱函道路沿いに広がる桜景色  
熱函道路

熱函中央商店街手前の来光川橋両脇の桜並木です。見応え十分です。



校庭脇に咲き誇る  
桑村小学校

桑村小学校の校庭脇の桜並木です。小学生の通学・下校を見守っています。